

道徳通信

～「私の町」～

愛西市立八開中学校
道徳通信
令和3年10月20日
黄ブロック職員No. 2



「ふるさとのために自分ができること」 ～道徳「私の町」を通して考えました～

生まれ育った土地のことを「故郷（ふるさと）」といいます。授業では、新潟県村上市の伝統的建造物である町屋に住む「私」が、観光客から「町屋は温かい雰囲気ので心が落ち着きます。町屋に住めるなんて羨ましいです。」と声をかけられたことをきっかけに、自分の住む家や町並みの素晴らしさに気付き、誇りをもつようになりました。「私」の故郷を大切に思う気持ちをとらえ、様々な方向から『地域の伝統や文化を守っていくために必要なことは？』を話し合いました。さて、あなたの大切な故郷のためには何ができるだろう・・・？

赤 1年 ●● ●● さん

ふるさとのよさを理解すること。ふるさとにきた人に紹介できるようにすること。

赤 2年 ●● ●● さん

ふるさとを思うには、自分の住むこの環境が当たり前ではないと気づくことが大事で、伝統と文化をしっかり理解する。

赤 3年 ●● ●● さん

若者が来やすい商業施設を建て、再開発を進める一方で現在の在り方を残す。継承と発展のバランスが大事。

赤 3年 ●● ●● さん

ふるさとを守るために、まず自分がふるさとを守りたいと意思をもち、そのためにふるさとの伝統を知っていかなければならない。

黄 1年 ●● ●● さん

新しいものを取り入れるだけでなく、昔ながらのものも大切に、ただ思うだけでなく行動に移していくことも大事にしたい。

黄 2年 ●● ●● さん

自分自身がふるさとに住み続け、移住してきた人に伝統と文化を伝え、みんなで引き継いでいくことが大切だと思った。

黄 2年 ●● ●● さん

八開の良さは蓮田や懐かしさを感じる自然の風景。その自然を守るためにゴミを捨てないようにする。

黄 3年 ●● ●● さん

ふるさとの良いところに気づいていないかもしれないけれど、他の知らない場所より知っている場所がたくさんあって、地域の人々の温かさを毎日感じることができると改めて思った。

青 1年 ●● ●● さん

田舎は嫌だ、都会に住みたいと思ったことはある。けれど自分では気づけないふるさとの良さがあることを知った。ふるさとを大切にするためにできることを考えて、生活していきたい。

青 2年 ●● ●● さん

ふるさとがこれからどうなっていくかわからない。まずは自分が成長してからふるさとに貢献する。

青 2年 ●● ●● さん

私にできることはまず自分が行動すること。自分がやれば周りの人もやってくれてどんどん活気づいていくと思う。

青 3年 ●● ●● さん

私たちがふるさとのためにできることがあるのか疑問に思っていたけれど、ふるさとの伝統行事に積極的に参加したりPRしたりすることができる。他にもできることはないか探していきたい。